

巻 頭 言

経営情報実務学科長 野澤 智

ここに「城西経営情報研究年報」の第2号を刊行する。本誌を創刊するにあたり、本学経営情報実務学科教員の日頃の教育および研究の成果がここに発表されることは悦びに耐えない。

本誌には、3つの役割がある。1番目に、いうまでもなく本学科教員の日頃の教育・研究成果の発表の場としての役割である。日頃の研究成果を、研究論文という形で掲載している。今後とも実り多い成果を期待したい。

本学には「経営実務特別講義」を1年次の必修科目として開講している。この特別講義では、金融、流通、製造、観光業界など、それぞれの業界で現在活躍している方を毎週ひとりづつ講師にお呼びし、それぞれの業界の動向について講義していただくとともに、現代社会で期待される女性像や女子短大生達の今なすべき事など、的確なアドバイスを交えて講義していただいている。本誌では、特別論文として、何名かの講師の方に講義内容等を題材に執筆の依頼を行い、発表の場としている。それが本誌の2番目の役割である。

また、3番目として、本学科主催講演会の概要紹介やインターンシップ実施概要の紹介など、本学科1年間の歩みの報告書としての役割もある。昨年度に引き続き、今年度も本学卒業生による講演会「私のキャリア・デザイン」を開催した。これは、就職活動を目前に控えた1年次生を対象として、各種の業種で活躍している本学科卒業生数名を講師に呼び、彼女達から人生の先輩としてエールやメッセージを在学生に送るものである。本号にもその概要が紹介されることと思う。在学生は、真剣なまなざしで彼女達のアドバイスに耳を傾けている。自分達の少し先を歩いている身近な先輩からのメッセージは、我々教員よりはるかにストレートに伝わっているはずである。

大学には、良い人材を社会に送り出すことが使命として科せられている。昨年、今年の講演会で輝いた彼女達の姿を見ていて、ほんの一瞬ではあるが、少しはその役割を果たしてきたのかなとホッとしたのであるが、うぬぼれであろうか。